

委員会の運営について

●委員

1点目は、評価指標についてである。アウトカムになっているのか等、例年議論になることから、昨年の委員会で事務局に検討するよう提案した。国交省や農水省が定義しているものに、ある程度倣う形でやっていると思うが、評価指標の設定そのものの検討について、進捗状況を教えてほしい。

○事務局

現在、個別補助事業や単独事業の大規模事業においては、事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業や、事業採択後10年間を経過した時点で継続中の事業などを対象に再評価を実施し、委員会で審議いただいている。

個別補助事業については、国が再評価実施要領で再評価の時期を定め、学識経験者の意見を聴くこととされているため、これに準じて県でも委員会の意見を聴くこととしているが、新規事業採択時評価においては、規定されていない。

ただし、近年、交付金事業が補助事業化されてきており、その際に、新規採択時評価における学識経験者の意見を国から求められるケースがあると事業課から聞いている。国の動向を注視するとともに、他府県の状況も確認しながら、研究と検討を進めているところである。

また、交付金事業については、中間評価と事後評価について審議いただいているが、昨年度末に国から、事業効果の記載や定量的指標の設定をより適切に行うよう通知があったところである。これを踏まえ、まずは適切な計画策定に努めていきたいと考えている。

●委員

どういう指標を設定するかは国交省や農水省が指定しているのではなく、県で指定しているということか？

○事務局

県で設定している。国交省からも適切な指標を設定するよう通知があったところ。

●委員

担当部局で設定しているということであれば、自ら指標を設定して評価するというのは事業評価と言えるのか。

引き続き、どのような形で第三者の過程を経るのか検討する必要があると思うが如何か？

○事務局

検討したい。

●委員

直接、指標に関係する意見もあれば、データ等に対する指摘もある。また間接的な意味で事業に関する意見も出ているが、それらに対するフィードバックがない。

意見や質問に対して、一定程度フィードバックしてほしい。調査しなければいけないものについては、お金も時間もかかるが、しっかりとフィードバックをしてほしい。

○事務局

フィードバック出来ていなかったことはお詫びする。今後は、フィードバックに努める。

●委員

新しい副委員長が指名されたのでお願いがある。公募で委員になったが、その動機として、公共事業がどのように実施されて、適正に運用されているのか、本委員会が有効に機能しているのか、必要な組織であるのかを確認したかった。県が本委員会に求める効果に対して、必要以上に時間や労力をかけていないか、本委員会が十分な効果を生み出しているのか、そういったところに視点を置いて参加している。

滋賀県の附属機関設置条例の説明があったが、県知事の附属機関はたくさんある。副委員長は、河川関係の委員会の委員もされている。オーバーラップする部分があって、ここにも無駄があるような気がする。そういった意味で、この委員会を見ていただいて、無駄などを指摘いただきたい。

●委員長

これは委員会運営に関することである。会議の合理化も非常に重要なことである。考えながら進めていきたい。

先ほどの評価指標の問題は、委員会のフィードバックもそうだが、それぞれの部署でどのように検証されているのかが重要なポイントだと思う。公務員の方々は何年かおきに替わる。それに対して、公共事業は時間がかかる。なぜこのような指標を？というようなことも何度かあったと思われる。県として部局横断的に方向性を確認することも必要かと思う。そのために、委員会が必要だとは思わない。アドバイザー的に有識者に聞くのでも良いのではないか。素人ながら委員会に参加していて、そこが難しいところと思っている。継承、継続ということも頭において進めていただくと、より良い評価が出来ると思う。

以上